

麻生区区民会議 第11回専門部会 市民活動・絆づくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成29年10月26日（木）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第5会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 植木昌昭委員、緒方保委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員（部会長）、関根秀勝委員、高橋慶子委員（副部会長）、松田通委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、榎本 [コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 企画部会からの報告について

- ・部会長より第8回企画部会の内容の報告が行われた。
- ・キックオフイベントを区民会議フォーラムとして開催することを確認した。

2. 調査・審議課題の検討について

(1) 提言までのプロセス及び検証内容等の検討

【今後の方向性】

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・これまで地域活動を行っていない子育て世代の親を対象としたキックオフイベントであることから、「知る」、「つながる」の概念はハードルを高く考えずに検討していくこととした。・「知る」、「つながる」ことができたかを検証するための条件（プログラムを選定するための条件）は具体的な団体リストを作成の上、検討することとした。 |
|---|

【主な意見】

- ・「知る」については、自分が市民活動と全くつながっていない立場で考えるべきではないか。
- ・つながっていない人の例としては、町会や自治会に加入していない人が当てはまるのでは。
- ・「知る」は導入の時にどんな情報があったら良いのかという視点で考えるとよい。
- ・つながっていない人に、つながるきっかけを与えることが「知る」の定義になるのではないか。
- ・「知る」は必ずしも「つながる」に連動しなくても良いのではないか。麻生区独自の活動やイベントを紹介して、こんなものがあるんだと思ってもらえるレベルで良い。
- ・自分の趣味や特技などが、地域貢献につながっていることを知ってもらい、意外と自分の身近にあることに気づいてもらえると良いのではないか。
- ・何らかのイベントに参加することのみで「つながる」ということで良いと思う。まずは、参加することで良い。
- ・イベントや伝統行事を知ることが「知る」に含まれるのではないか。

- ・個人で体験するだけではなく、隣の人と関われるようなイベントが「つながる」を達成するための条件ではないか。
- ・「知る」は驚きで良い。「つながる」は団体が個別活動と呼び掛けて、それに主体的に参加する程度の意味で良いのではないか。

(2) キックオフイベントについて

【今後の方向性】

- ・委員はコンセプトにあてはまる団体の情報（団体名、団体の活動内容や団体へ依頼したい内容・推薦理由等）を11月2日までに事務局に伝達し、次回までにリスト化することとした。
- ・団体情報をリスト化したものを、選定基準をもとに検討し、プログラムを決定することとした。
- ・これまでの部会で練ったテーマをうまく組み合わせることで団体への依頼文を作成することとした。

【主な意見】

- ・団体の選定基準は、目的の定義と条件にあてはまる団体としたほうがよい。
- ・団体の選定については、当部会で定めるコンセプトに従って選定すべきであると思う。また、団体の選定基準を定めるにあたっては、その定めた条件を1つでも満たしていればよいとするなど、選定方法についても検討したほうがよい。
- ・コンセプトに沿った依頼の結果、団体が集まらないのであれば、少し範囲を広げて参加してくれる団体に参加してもらえないか。
- ・時間的な余裕がなくなるため、依頼文案を作成する必要がある。
- ・依頼文については、これまでの議論をまとめれば自ずとできあがるのではないか。

3. その他

- ・次回は11月8日（水）に母子相談室で開催することを伝達した。

以 上